

雨が降らず晴天開催

初市・ビジターセンター開催

初市が3月15日、16日の2日間、町ビジターセンター前で行われました。これは、もともと室地区にあった室西鶴甲斐神社の市が始まりとされ、町の発展とともに開催場所を変えて行われているものです。町特産の米餅「市飴」が売られていることから「飴市」、開催日に雨が多く降ることから「雨市」とも呼ばれています。当日は駅利用者が市に寄り、買い物を楽しんでいました。



初市には町の伝統菓子、銅銭糖、市飴のほか、樹芸や瀬戸物なども出店していました

「ゆるや傘」でゆっくり走ろう

KDS(熊本ドライビングスクール)が傘を寄贈

KDSからこの春町内の小学校に入学する新1年生に「KDSゆるや傘キッズバージョン」が3月15日に贈られました。これは、ゆるや傘をさす子どもたちを見たドライバーに、雨天時の路面や視界の悪さを再認識してもらい、「思いやりのある運転」を心がけてもらうことを目的に作られたものです。贈られた傘は、各小学校の入学式で配布する予定です。



⑤齊藤教育長⑥KDSの永田佳子代表取締役社長⑦家入町長

大津町の社会福祉に大きく貢献

平成27年度熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰



●社会福祉事業施設の職員
やのりえこ
矢野利江子さん

特別養護老人ホーム「つづじ山荘」に18年勤務し、デイサービスセンターの看護師として利用者の皆さんの健康管理を行い、高齢者福祉に貢献。



●社会福祉事業関係団体役員
たしまようこ
田島洋子さん

大津町身体障害者福祉会に27年従事。長年に渡り理事を務め、相談員など同会への支援を行っており、障害者福祉に貢献。



●訪問介護員
よしだちよこ
吉田智代子さん

大津町社会福祉協議会に16年勤務し、訪問介護事業所ホームヘルパーとして、利用者一人一人にあった生活援助を行い、高齢者福祉に貢献。

「平成27年度熊本県社会福祉功労者および団体等知事表彰式」が、この程、ホテル熊本テルサで行われ、社会福祉に貢献した3人が県知事から表彰されました。

1年間の活動で学んだこと

大津まちおこし大学 活動報告会

大津まちおこし大学の活動報告会が3月19日に町交流センターで行われ、当日は約60人が参加しました。同大学の「人づくり学部」「まちづくり学部」の8団体と1個人が、それぞれ工夫を凝らした報告をしました。

参加者は「発表を通して他の団体の活動内容を知ることができ、とても興味深かった。来年度機会があれば、参加してみたい」と話していました。



それぞれの団体が特色ある報告を行いました

教育の充実に役立てて

肥後木村組(株)が「学び舎応援募債発行」で物品寄贈

肥後銀行が3月16日に肥後木村組(株)から指定を受け、大津小に書画カメラとテレビを贈呈しました。これは地域活性化を目的に、「学び舎応援募債」を発行した記念に同行が企業の指定した県内小中学校に物品の寄贈を行えるものです。寄贈を受けた吉良智恵美校長は「子どもたちの授業に活用させていただきます」と肥後銀行と肥後木村組(株)にお礼を述べました。



目録を持つ大津小の吉良智恵美校長(左から2番目)と肥後木村組(株)の澤村奈古社長(左から3番目)

自然とふれあって楽しい一日

親子ファミリー自然体験教室

陽の原キャンプ場で3月6日に明日の観光大津を創る会主催による、自然体験教室が開催されました。当日は15家族48人の親子が参加し、しいたけのコマ打ち(きのこ菌の植え付け)、ネイチャーゲーム、オリジナル木製のネームプレート・コースターの絵付けが行われました。

参加者たちは親子同士で会話しながら非日常のひと時を過ごしていました。



しいたけのコマ打ちを体験する参加者親子

商店街をつつじの花で明るく

ふれあい散歩道商店街でつつじの植栽

JR肥後大津駅の南口にある「ふれあい散歩道商店街」により、商店街の植樹帯につつじの植栽が3月13日に行われました。当日は、商店街の関係者・家族の参加のほかに、大津高校生や翔陽高校生のボランティアも参加し、総勢110人の作業となりました。作業後は商店街からカレーと焼き芋の振る舞いがあり、地域の交流が生まれるイベントとなりました。



つつじの花が咲くのを楽しみに家族で植えていました